



明治大学、2年ぶり2回目の優勝！

©JUFA

Match Review Result & Report

Reported by 佐藤謙治 (読売新聞社運動部)

2018年9月9日(日) 18:00キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/雨 入場者数/3906人

大阪体育大学	0	0-1 0-1	2	明治大学
		得点 (アシスト)	41分 安部柊斗 77分 佐藤凌我	

明治大学が頂点をつかみ取った。大阪体育大学の攻勢をいなしながら、少ない好機で確実に仕留める決定力で2得点。堅守をベースにした試合巧者ぶりが際立つ試合運びだった。

試合開始の笛が鳴ると、大阪体育大学が猛攻を仕掛けた。寄せては返す波状攻撃も、明治大学は織り込み済みだったという。準決勝まで3試合で3失点の守備陣が動じることはなく、主将のDF2、岩武克弥(4年)を中心に辛抱強く攻撃をはね返した。

均衡を破ったのは41分。右サイドをDF12、中村帆高(3年)が突破し、中央へ。混戦からMF6、安部柊斗(3年)が左足でゴールに突き刺した。安部は「押し込まれる時間が続いたけど、いい時間帯に得点できた」と胸を張った。

後半、1点を追う大阪体育大学がさらに前掛かりになって襲いかかる。明治大学は鍛えられた堅陣ではね返し、77分、右サイドを抜け出したFW9、村田航一(4年)がクロス。これを相手守備陣がクリアし損ね、後半から交代出場のFW20、佐藤凌我(2年)が一瞬のスキを逃さず押し込んだ。ここぞというチャン스로追加点を奪い、流れを決定づけた。

大阪体育大学は前線までボールを運びながら、決定力不足に泣いた。2011年大会以来となる優勝を逃し、松尾元太監督は「完敗。大会を通じて成長させてもらったが、まだまだ足りない。もっと成長しなきゃいけないと気づかせてもらった」と大会を総括した。

明治大学の栗田大輔監督は「選手たちは一戦一戦、よく戦い抜いてくれた」と感無量の表情を浮かべた。4年連続で決勝に進み、2年ぶりの優勝。黄金時代の到来を感じさせる戴冠だ。



©JUFA



©JUFA

